

一般社団法人
日本音楽療法学会ニュース発行 一般社団法人日本音楽療法学会
理事長 藤本 禮子 副理事長 猪之良高明 副理事長 二俣 泉

事務局 〒105-0013 東京都港区浜松町 1-20-8 HK浜松町ビル 6階 TEL 03(5777)6220 FAX 03(5401)0337

『歴史を受け継ぎ繋ぐために……先達から学ぶ音楽療法』

池田：日本音楽療法学会が設立され23年になります。それ以前の1977年に松井紀和先生が主催されている山梨のセミナーが始められました。そこに日本全国の音楽療法士が一同に集まった事が今日の音楽療法学会に多大な影響を与えているのだと思います。その当時から、第一人者として日本の音楽療法学会を牽引されている古賀幹敏先生に『音楽療法を取り巻く現状について』お話を伺いたいと思います。まず、現在の音楽療法の世界は、その当時先生方が描かれていた様になっているのでしょうか？

古賀：そうですね。まだまだ難しいのかなという気はしています。その当時（約50年前）、「音楽療法士という資格は必要だよ。そのためには教育システムをしっかりと作らないといけない。しかし、当時のクラシックを頂点とした音楽大学での音楽教育は、音楽療法という観点から見ると必ずしもベストの教育機関ではないのではないか」というような事が盛んに言われていました。当時の音楽大学には音楽療法コースはなかったですから、そこを卒業した方たちが患者さんとの関係性も含めてですけども、音楽療法をすることが可能なのだろうか？むしろOT（作業療法士）だとかSW（ソーシャルワーカー）だとか心理の方たちも含めてですが、周辺の多職種の方たちの方が、音楽的な技術は少し低いかもしれないけれども、対人関係・対人支援としては優れている所があるのではなかろうかな、つまり感受性の問題ですよ。だから、その方達が音楽療法を学ん

で音楽療法を実施できないかと、話題になっていました。

池田：そこから歴史があって、音楽大学を中心に養成校が出来たんですが、残念な事に音楽療法を学びたいと思う学生が減ってきているようです。先生が勤められていた活水女子大学はいかがでしょう？

古賀：そうですね、法人に関して言えば音楽療法のコースを作ってほしいとか、これを作ると学生募集に役に立つという時代が確かにありましたから、その時にいろんな所で音楽療法のコースを作ったのは事実だと思います。活水もそうです。けれども活水もあと3年経つと音楽学部そのものがなくなります。それは、別に音楽療法だけではなくて音楽学部への入学生が減ったということです。少子化の影響も当然あると思いますが音楽学部を出ても、どうやって食っていくのだ？という事があります。その上、音楽療法士はまだ民間資格ですのでそのあたりも含めると、気持ちとしては音楽療法士の資格は取りたいのだけれども、音楽学部に入っていこうとする方たちが少ないというふうになりますね。ただですね、医療系の専門学校でOTとかST（言語聴覚士）とかのグループの中には音楽療法をやりたいという方たちがやっぱり数としてはいらっしゃいます。授業講義の時にちょっと話すと、本当は音楽療法で行きたかったんですけども音楽療法では食べられませんから、まずはOTとかSTとして仕事をしながら音楽を患者さんに使

古賀幹敏氏
(元活水女子大学准教授)池田憲治氏
(日本音楽療法学会広報委員)

いたいと思いますという方はいらっしゃいますね。でもその方たちが今から音楽療法士の資格を取るというわけじゃないですよ。国家資格としての資格を持っていますので、改めてそれに上乗せをしてという方達は少ないですね。逆はあるんですよ。音楽療法士で資格を取ったんだけど仕事もしにくいということで作業療法士の資格を取ったりというのはありますね。職業としてはまだ難しいのですけれども、でもそういう一部の医療を学んでいらっしゃる若い学生の中には音楽療法というのは絶対に外したくないという思いでいらっしゃる方たちがいます。

池田：音楽療法に興味があるのだけれども、職業を選ぶ段階で関連職種の資格を取得する方がいらっしゃる。音大で音楽療法を学ぶ事が出来る環境はあるのですが、どちらかを選択するとなると将来の安定が優先されるのでしょうかね。それでも、音楽療法士になりたいと思う方が増える為にはどうすればいいのでしょうか。

古賀：まさにそのあたりはですね。OTやSTのような形での職業としての先が見える資格としてあれば違ってくると思うんですけど、現実としては非常に難しいなという気はしています。

ちょっと狭い世界になるんですけどもOTがいるところでOTさんがやってみたかった音楽療法があるわけですよ。そこに音楽療法士が入って行って、そして実際にやっているところを見せていただいて、そして「これはこういう意味があってこんなことをやりましたね。」というのが、言葉で医療従事者であるOT等に説明できるような方が増えてくると、少しずつ状況はまた変わってくるのではないかなと思います。そこが出発点となるのではないですかね。

池田：最後にもう一つ、音楽療法士の勉強を一生懸命して資格取得した方が、音楽療法士を早々にやめてしまう方や資格更新をやめるといった方がいらっしゃいますが、その問題についてはどう考えられますか。

古賀：やめていかれる方たちの中には、一人で頑張っちゃって、疲弊してしまう方々も一定数いらっしゃいます。実際に自分のやっている内容をどう見つめて、どんなふうに理解して、自分が続けていけばいいのだろうという所で、戸惑っていらっしゃる方たちがいらっしゃるような気がします。そういった意味では、仲間がそばにいることないしは仲間を作り出すこと、そしてもう一つはスーパービジョン等を受けることが必要だと思います。やっぱり自分のやっていることを、先輩でもいいしちょっと聞いて、外からもう一度

見つめ直していただくような作業があると良いのだろうと思います。現実的なところでは、非常に収入にはなりにくい部分もあるかもしれませんが、それを補完するくらいの豊かな時間とか体験を音楽療法の中でしていけるのではないかな、それが長続きをさせていく一つになるのではないかなと思います。だけど熱と意気だけではすぐ疲弊するんです。自分が専門的にやってる事をどうまとめていくのだろうという事がまだ打ち立てられてない方たちは、やってるけれども何か空回りをしているんです。その時間は一体何だったんだろうという風になりやすいのですけれども、だからスーパービジョンとか仲間同士での意見交換等を沢山やるべきなんです。それと同時に学び続け、新しい知識を得ることで自分の今やってる事、それとさっき言った熱と意気は絶対に必要なんですよ。暖かさみたいなものだけど……それと同時に音楽療法士は、プロとしての知識を持たないといけません。それが絶対に必要。そして、そのプロとしての知識の中に、今言ったような新しい知見を取り込んだり学んだりすること、同時に自分をきちっと見つめ直すようなスーパービジョン的な内省、これは仲間と喋ってても出てきますから、そういう時間を持てると、やめていこうという方たちが減る可能性はあるのではないかなと思っています。

池田：一人で頑張るのではなく、お互い学び合い助け合いながら歩を進めていけるような環境を私達が作っていく必要があるということですね。その為には、音楽だけではなく、やっていることを伝えたり、人を支えられる言語力がとても必要になってきますね。沢山勉強しなくてはいけないことがわかりました。

古賀：やっぱり我々が、半永久的に努力しないとイケないことだと思います。音楽があつてよかったと言う事をよく皆さんおっしゃるけど私はなんかそういうことではなくてね、相手との間に音楽というものを使える自分があるんだったら音楽を使う、言葉が使える自分だったら言葉を使おう、絵があるんだったら絵を使おう。だからとにかく対象者の方にとっては、音楽である必要は全くないんですよ。でも、音楽があることの素晴らしさとか意味をやっぱりその方との関係性で考えていかないとイケないと思っています。

池田：1時間近くインタビューさせて頂いたので盛りだくさんですが、原稿の文字数が決まっていますので全部を掲載出来なくて残念ですがお許し下さい。今日は、本当にありがとうございました。

第24回日本音楽療法学会学術大会へのいざない 「集い 繋がり 語り合おう～さらに拓かれる音楽のちからを～」

第24回日本音楽療法学会学術大会
大会長 近藤 里美

第24回日本音楽療法学会学術大会は、9月27日（金）～29日（日）に札幌にて開催されます。本大会は、「集う」、「繋がる」そして「語り合う」という3つのキーワードをもとに、対面を中心に据えた大会となります。新型コロナウイルス感染症のパンデミックを経てこそ再確認された「集う」ことの喜びや、仲間との、音楽との、そして新たな人たちとの「繋がり」を育む機会になるように準備を進めているところです。

講習会には、多様なジャンルのオンデマンド講習と共に、会場に「集う」からこそ価値のあるワークショップを用意しました。また、市民コンサートを兼ねた「ミュージックセラピーコンサート vol.3」や、市民公開講座を兼ねた北海道ならではの教育講演など、地域の方々が無料で参加いただける企画が並びます。さらに昨年の大会に引き続き、非会員限定で当日参加のみ有効な「ゲスト参加」区分を設けたり、学生さんの参加を促すための大幅な学生割引を設けました。ぜひ、隣接領域の実践家や研究者をはじめ、多くの市民の方々にも足を運んでいただき、様々な人たちが音楽療法と繋がり、語りあう機会になればと願っています。

学術大会のオープニングでは、太古から現代の時間軸と、縄文文化、アイヌ文化、そして現代文化の多様な音楽が交わるミュージック・アクトで皆さんをお迎えします。北海道在住の縄文太鼓演奏家の茂呂剛伸さん、アイヌ民謡の歌手のスズサップノ良子さん、そしてヒューマンビートボクサーのYUTAさんが織りなすコラボレーションは、音楽を通して大会テーマを表現してくれることでしょう。

2日目の基調講演には、神経科学者で音楽家でもある Dr. Alan Harvey を迎えて、私たちにとって音楽とは何かを振り返りながら、特に、地球規模で広がる不穏で不安な未来を生きる私たち人間にとって音楽が重要であり続ける意味を考え、語り合う機会としたいと考えています。

大会の中核となる研究発表については、口演発表に2つの時間枠（通常の20分枠と、語りあう時間を増やす40分枠）を設けたり、通常の現地ポスター発表の他に、事前にポスターを郵送して当日に遠隔地からSNSを活用して現地と「繋がる」、新しいポスター発表の試みにもチャレンジします。日頃の実践や研究の成果を語りあうチャンスですので、ぜひ多くの方々の演題登録をお待ちしています。また今回は、日本音楽療法学会認定校の学生さんたちを中心に「学生企画」を計画中です。ぜひ音楽療法の将来を担う学生さんたちに優しい目を向けていただき応援ください！

さて学術大会は、もちろん学際的に重要なイベントですが、同時に旧知の友との再会を喜びあい、新しい人と出会い、様々な繋がりを広げる楽しいお祭りでもあります。

久しぶりに開催する懇親会では、前回の北海道大会で大好評だったジンギスカンと北海道工場直送のビールを満喫していただきながら、全国各地の方々と交流を深めていただきたいと思います。余興には「M-1グランプリ」をもじった「MT-1グランプリ」を企画しています。どなたでもお気軽に、大会ホームページ「懇親会」内にある「MT-1グランプリの申し込みはこちらから」をクリックしてお申込みください。

最後に、大会ホームページを飾っているイメージ画は、公募により選ばれた最優秀作品です。本大会では、この作品から大会オリジナルグッズを制作して大会当日に販売します。なお全純利益は、世界の災害・人災被害国への音楽療法支援のため、および令和6年能登半島地震の被害に対する音楽療法支援のために使っていただく予定です。ぜひ皆様のご協力をお願い申し上げます。

それでは、秋深まる美しい札幌の街に多くの皆様がお越しになることを、大会実行委員一同、心よりお待ち申し上げております。

※大会実行委員会では、SNSを使って大会についての便利な情報を発信中です。

例えば、講習会講師の紹介や、北海道の観光情報、特に地元だからこそお伝えしたい耳より情報など、日々アップデートしていますので、ぜひフォローしていただき、一緒に大会を盛り上げていただけると嬉しいです。下記のQRコードからフォローをよろしくお願いたします！

Face book



Instagram



©JMTA2024_IN_HOKKAIDO

X



■ 国家資格推進委員会報告 ■

国家資格推進委員会
委員長 藤本 禮子

学会ニュース第46号以降の国家資格推進委員会の活動について、1. 国家資格化に向けた国会議員への働きかけ 2. 会員の皆様への国家資格化情報の共有活動 3. 音楽療法の社会的認知を進める活動 に分けて報告いたします。

1 国家資格化に向けた国会議員などへの働きかけ

- 2023年 12月14日 佐々木さやか参議院議員と会見し、音楽療法士国家資格に関する法制局への提出書類について説明を行いました。
- 21日 浮島智子衆議院議員と会見し、国家資格化の更なる推進をお願いしました。
- 2024年 3月28日 鴨下一郎当学会顧問と面会し、第3回ミュージックセラピーコンサートについて相談を致しました。
- 4月15日 衆議院議員会館大会議室にて、映画議員連盟主催「認知症と生きる希望の処方箋」上映会が開催され、国会議員、映画関係者など30名程が参加しました。当学会が挨拶する時間を作って下さり、冒頭理事長が挨拶を致しました。

2 国家資格化情報共有の活動

第24回日本療法学会学術大会にて、シンポジウム「国家資格化は今！～6～」～最期の日まで対象者を他者とつなぐ音楽療法～を開催します。

- 登壇予定者 秋野公造（参議院議員、一般社団法人日本音楽療法学会顧問）
儀賀理暁（埼玉医科大学教授）
藤本禮子（一般社団法人日本音楽療法学会 理事長）
村林信行（一般社団法人日本音楽療法学会 常任理事）
- 司 会 二俣 泉（一般社団法人日本音楽療法学会 副理事長）

3 音楽療法の社会的認知を進める活動

- 2024年 5月15日 埼玉医科大学総合医療センター儀賀理暁氏を訪問し、「日本緩和医療学会」との連携について話し合いました。
- 9月27日 第24回日本音楽療法学会学術大会（札幌コンベンションセンター）にて「ミュージックセラピーコンサート vol.3 ～音楽で楽しく、音楽で元気に～」を開催します。
道先案内人：鴨下一郎（当学会顧問） 湯川れい子（当学会理事）
出演：左手のフルーティスト 畠中秀幸 他
学会員・一般の方々、無料でご参加いただけます。

以上、国家資格推進委員会から報告致しました。今後、尚一層音楽療法士の国家資格化に向け力を尽くして参ります。会員の皆様の益々のご支援宜しくお願い致します。

■ 日本音楽療法学会 2024年度研修・講習会のご案内 ■

研修・講習委員会
委員長 米倉 裕子

新たな年度を迎えまして、学び続ける民である音楽療法士の皆さまも気持ちも新たに健やかに過ごしていただくことを願いながら2024年度の研修・講習会のご案内をさせていただきたいと思っております。今年度の学びのテーマは、『基本に戻る～対象者理解・様々な角度から～』とし、脳、身体、行動、感覚、コミュニケーション、などの視点から、パンデミックに翻弄された私たちにとって、気持ちも新たに音楽療法の基本を見つめ直す機会となる1年になればと願う気持ちから決まったテーマです。今年度も初代理事長日野原重明先生の理念である“keep on going”に則りまして、研修・講習委員メンバー一丸となり、音楽療法士にとって血となり肉となり得る学びの喜びを、皆さまと一緒に共有していくことができればと考えております。どうぞ、よろしくお願い致します。

今回ご案内させていただきます2024年度の研修・講習におきましても昨年度と同様に「オンライン枠」と「現地対面型枠」をバランス良く実施していく予定です。そして、2024年度の「オンライン研修・講習会」は、例年の4期制実施を見直しまして、3期制実施とし、その代わりといたしまして、1期の配信期間をこれまでよりも長く設定することといたしました（ライブ配信講座を除く）。多忙な日々を過ごしていらっしゃる学び続ける民の音楽療法士の皆さまの『受講したかったのに、気がいたら配信期間が終わっていた！』という嘆きの声にお応えした新しいシステムです。是非、今年度は学びの喜びを得る機会を逃すことなく、安心して受講していただければと思います。

また、昨年度に引き続きまして第2回「世界と繋がるライブ型 オンライン研修・講習会 — Link with Music Therapists around the World 2（世界の音楽療法士と繋がろう！）—」を8月頃に実施予定です。昨年度はドイツ・ベルリンと日本がオンタイムで繋がりまして、講師の先生と受講生の皆さまとのダイレクトなやりとりが好評でした。今年度も受講生の皆さまにわくわくした気分で積極的に学んでいただけるように、現在海外におられる複数の音楽療法士の先生方とやりとりをしながら絶賛準備を進めているところです。どうぞご期待ください！

札幌で開催予定の第24回学術大会研修・講習会本部枠におきましては、昨年に引き続きまして受講生の皆さまに自分自身をじっくりと見つめる機会を持っていただけるような内容のワークショップを寺内大輔先生に2枠連続でご指導いただく予定です。

2022年度に復活開催いたしました「現地対面型研修連続受講企画」は、深く学ぶことができる、と受講生に大変好評ですので、2024年度も同様のスタイルでの開催を2月に予定しております。加えまして、今年度は西日本におられる受講生の皆さまの講習会への参加の利便性を鑑みまして、開催場所を関東から関西に移しまして武庫川女子大学で2日間の開催を予定しております。全国の皆さま、どうぞ奮ってご参加ください。

2024年度も学び続ける民・音楽療法士の皆さまには、「オンデマンド型 オンライン枠」、「ライブ型 オンライン枠」、そして「現地対面型枠」、以上の3つのスタイル全ての研修・講習を是非経験していただきたいと考えております。研修・講習委員会では、学会員おひとりおひとりの声を伺いながら、少しでも学びの喜びが明日の臨床に生かされます様に、今後も引き続き学びの計画と実施を推進していきたいと考えております。今年度も何卒よろしくお願い致します。

I 2024年度「オンデマンド型 オンライン研修・講習会」実施計画

第1期：2024年6月3日（月）～2024年8月30日（金）配信予定

□2024・1st・00-1・新作

音楽療法研究

タイトル：第3回日野原賞受賞記念講演：

「歌唱音声の音響分析と人の評価に相関はあるか？ 歌唱訓練による運動障害性構音障害の発声明瞭度の向上を目指して」
内容：音楽療法のプログラムに発声の明瞭性の改善を目的とした歌唱活動を取り入れた場合、評価が難しい面があります。そこで、客観的に発声の評価する手法としてコンピューターを用いました。同時に、人がその音声を聞いたとき同じように評価しているかの相関を分析しました。特に、発声が不明瞭な運動障害性構音障害の発声を改善するための歌唱訓練において、訓練の効果や改善しやすい音楽の要素についての研究をお話いたします。

講師：七原 真紀 氏

プロフィール：小田原短期大学保育学科 通信教育サポートセンター（名古屋）



□2024・1st・00-2・新作

基本に戻る～対象者理解・様々な角度から～・コミュニケーション・音楽療法臨床全般

タイトル：「通じ合う心」のはじまりーコミュニカティヴ・ミュージカリティの理論と実際ー

内容：声を合わせて歌ったり一緒に手拍子したりすると、心が通じ合った心持ちになります。リズムカルな同調は人間社会の凝集性を高めると言われ、音楽と向社会性を結び付ける向きもあります。本当にそうなのでしょうか。こうした現象の根拠として注目されているのが、乳児科学の分野で Trevarthen らが提唱するコミュニカティヴ・ミュージカリティ概念です。Trevarthen らは乳児と母親のやり取りが音楽の特徴をもつことを示し、人の生得的音楽性が心の通じ合いを支えると言います。講義では母子間コミュニケーション研究の成果等を取りあげて通じ合いの「はじまり」を探求し、人と人をつなぐ音楽の力とは何か、私たちが留意すべきことは何か、一緒に考えたいと思います。

講師：今川 恭子 氏

プロフィール：聖心女子大学 現代教養学部 教育学科 教授



□2024・1st・00-3・新作

音楽療法士 IT 技術ブラッシュアップ・学会発表応援企画

タイトル：「音楽療法士のためのテクノロジー入門～ITへの苦手意識脱却ガイド～」

内容：インターネットを始めとしたテクノロジー活用が音楽療法界に浸透する中、「なかなか一步を踏み出せない」「必要なのは分かるけれど自分には無理な気がする」など、苦手意識を持つ音楽療法士の声が多く聞かれます。このように感じるのは、もしかしたら大前提となる大切な何かが抜け落ちているからかもしれません。頭の中でぐんぐんと高くなってしまったITハードルを下げるために、学会発表のための動画作成手順を始めとし、遠隔音楽療法やセッション動画作成の話まで、講師の実体験を交えて分かりやすく具体的に紹介します。

講師：小沼 愛子 氏

プロフィール：合同会社 Music Fits Japan・任意団体音楽療法かけはしの会代表



□2024・1st・00-4・再配信

基本に戻る～対象者理解・様々な角度から～・脳と音楽・音楽療法研究・認知症予防と音楽

タイトル：音楽の力と認知機能～重度認知症があっても音楽はできる！

内容：60歳以上の世界人口の割合は急速に増加しており、日本ではすでに30%を超え、2016年以降、認知症が介護を必要とする最も多い理由となっています。また、通常の加齢でも、認知機能に関する神経基盤に変化が起り、特に前頭前野領域に影響を及ぼします。したがって、認知機能の維持改善は、加齢を成功させるために非常に重要です。しかし、認知症があると新しいプログラムに参加することが難しくなります。音楽、特にリズムがあると、認知症や身体虚弱があっても誰でも参加ができ、且つ認知機能を維持・向上させるプログラムになります。高齢者の認知機能のレベルに合わせた認知機能改善プログラムについてお話します。

講師：宮崎 敦子 氏

プロフィール：医学博士。東京大学先端研身体情報学分野特任研究員。



□2024・1st.・00-5・再配信

基本に戻る～対象者理解・様々な角度から～・コミュニケーション・音楽療法臨床全般

タイトル：音楽と人間：音楽療法士とクライアントの関係性

内 容：音楽療法も含めセラピーとは、セラピストとクライアントの関係性の中で起こることであり、その間に育まれるラポール（rapport, 相互信頼）が最も重要な要素です。関係性を築くと口で言うのは簡単ですが、実際には難しく複雑なプロセスを経なくてはなりません。

心理学者のユングは「ふたつの人格が会うことは、ふたつの化学物質が接触するようなもの。もし何か反応が起れば、両者とも変化する」と言いました。この講習会では、音楽療法士とクライアントの関係性についてお話しします。

講 師：佐藤 由美子 氏

プロフィール：  ホスピス緩和ケアの音楽療法を専門とする、米国認定音楽療法士。

第3期：2024年11月1日（金）～2025年1月31日（金）配信予定

〈倫理・知的財産権基礎講座：第1講・第2講〉

※受講される方は、必ず第1講と第2講を一緒に申し込んでください。

※テキスト「日本音楽療法学会 倫理ハンドブック」をご用意ください。

□2024・3rd.・00-1・再配信

倫理・知的財産権基礎講座

タイトル：第1講：「倫理講座」

内 容：倫理綱領および倫理ハンドブックを題材にした講座

講 師：村林 信行 氏

プロフィール：  医療法人社団信俊会 心療内科アーツクリニック大崎院長

□2024・3rd.・00-2・再配信

倫理・知的財産権基礎講座

タイトル：第2講：「知的財産権講座」

内 容：著作権を含む音楽療法士として必要な知的財産基本法、知的財産権の知識習得のための講座

講 師：延増 拓郎 氏

プロフィール：  岩嵯・山中総合法律事務所 代表弁護士

□ 2024・3rd.・新作

詳細が決まりましたら、学会 HP にてお知らせいたします。

◆オンライン研修・講習会 視聴料

1本 一律2,000円 申込本数の制限はありません。また、視聴期間内であれば何度でも視聴いただけます。

◆申込み方法

・動画の申込み、視聴には「マイページ」の作成が必須です。（※会員ポータルサイトのご自身のページとは違います。）学会ホームページの「オンライン研修・講習会」からお入りいただき、【マイページの作成・ログインはこちらから】ボタンから会員（非会員も）ご自身で作成ください。

・一度作成した「マイページ」は以後も引き続き使用できます。1人につき1マイページを作成してください。

◆受講ポイント

オンライン研修・講習会の取得ポイントは動画視聴1本につき、「認定申請：2ポイント」「更新申請：2.5ポイント」です。視聴と受講テストに合格することで取得できます。

◆オンデマンド視聴に関する遵守事項

いかなる方法においても「配信動画」の録画・録音、また資料等の登用は法律で禁止されております。ご注意ください

※オンライン研修・講習会の講座内容についてのご質問は受けつけておりません。

Ⅱ 2024年度「世界と繋がるライブ型 オンライン研修・講習会 — Link with Music Therapists around the World 2 —」実施計画

第2期：2024年 8月 配信予定

詳細が決まりましたら、学会 HP にてお知らせいたします。

Ⅲ 2024年度「現地対面型：研修・講習会」実施計画

1：第24回学術大会研修・講習会本部企画（2 枠連続研修：1 会場）

日程：2024年9月27日（金）

場所：札幌コンベンションセンター

□2024・1st・GT-1～2

音楽療法臨床全般

タイトル：音楽のやりかた—ひとりで・だれかと・みんなで

内 容：音楽は、誰かに聴かせたり、誰かと遊んだりするといった、他者とのかわりによって生じる楽しみもあれば、誰に聴かせるでもない即興演奏をしたり、お気に入りの音に耳を澄まして感じ入るといった、自己完結的な楽しみもあります。こうした楽しみの幅を広げることは、個人にとってもコミュニティにとっても、音楽という行為を豊かなものにするでしょう。

本ワークショップでは、ひとりで・だれかと・みんなで楽しめるワークを実際に体験する場を作りたいと思います。

講 師：寺内 大輔 氏

プロフィール：  広島大学大学院人間社会科学研究科准教授・作曲家・即興演奏家

◆申し込み方法は、第24回学術大会の案内をご覧ください。

2：2024年度「現地対面型研修講習会」

日程：2025年2月15日（土）～2025年2月16日（日）

場所：武庫川女子大学

◆申し込み方法など、詳細につきましては、決まり次第お知らせする予定です。

※都合により一部講師、内容の変更が生じることがあります。ご了承ください。

様々な学びの場で皆さんにお会いできるのを楽しみにしております。

■ 支部情報（大会・講習会、総会などのお知らせ） ■

§ 北海道支部

【事務局】

〒062-0922 北海道札幌市豊平区中の島2条1丁目3-25 カムオンビル

E-mail : jmta.hokkaido.reiwa@gmail.com

支部ホームページ : <http://www.jmta-h.jp>

【支部役員】

任 期 : 2022年4月～2025年3月

支部長 : 近藤里美 副支部長 : 長谷部夏子 事務局長 : 下出理恵子

○北海道支部では、9年ぶりに地元開催となる第24回日本音楽療法学会学術大会に向けて準備を進めています。支部会員の皆様が学術大会への参加および演題発表を積極的にお考えいただけるよう、例年、春に開催される支部大会を9月の学術大会に振り替えることを提案させていただきました。

それに伴いまして、2024年度の総会につきましても、昨年に引き続き書面議決をさせていただきます。

○第24回日本音楽療法学術大会につきましては、大会ホームページやSNSにて最新情報を発信しておりますので、ぜひご覧いただけますようお願い申し上げます。

§ 東北支部

【事務局】

〒988-0261 宮城県気仙沼市本吉町後田137-2 佐藤方

E-mail : jmta-tohoku@festa.ocn.ne.jp

支部ホームページ : <https://jmtathhp.wixsite.com/jmta-tohoku>

【支部役員】

任 期 : 2023年4月～2027年3月

支部長 : 高山 仁 事務局長 : 佐藤香里

◎2023年度東北支部講習会を、「『音楽療法って何?』に答える～保護者・関係者に言葉で明確に伝えるために」をテーマとして、11月と1月に2回連続講座としてZoomで開催しました。オンラインならではの良さを取り入れ、ブレイクアウトルーム機能を活用し5領域（乳幼児、児童、障がい者、高齢者、終末期医療）に分かれ少人数で検討し、グループごとに発表、参加者全員で共有し、後日各領域でのまとめを参加者に送付するという形で実施しました。他支部からの参加も多く、参加者からは、少人数での対話の時間は一人ひとりが発言し、積極的に意見交換し、主体的な学びの時間となったとの感想が聞かれました。

◎第24回東北支部学術大会は、テーマを『今、音楽療法士に必要な「学び」について学ぶ』とし、2024年11月に福島県郡山市にて開催予定で準備を進めています。

今年度の大会は、4年ぶりに「現地対面のみ」での開催となります。

日時、場所、大会プログラム等詳細は、決まり次第随時東北支部ホームページにてお知らせいたします。

◎2024年度東北支部講習会の詳細につきましても、随時支部ホームページにてお知らせいたします。

§ 関東支部

【事務局】

〒373-0806 群馬県太田市龍舞町2210-1 ドレミ株式会社内

TEL : 0276-55-6344 FAX : 0276-55-5022

開設時間 : 平日 9 : 30～18 : 00

E-mail : mtkanto@jmta-kanto.jp

支部ホームページ : <http://www.jmta-kanto.jp/>

【支部役員】

任 期 : 2023年4月～2026年3月

支部長 : 小柳玲子 副支部長 : 平野夏子 事務局長 : 大島美知恵

◎第21回 関東支部地方大会（千葉）が開催されました

2024年3月3日（日）に千葉県松戸市の聖徳大学にて関東支部地方大会（千葉）が開催されました。

「音楽療法士の働き方の現状と課題～いまを語り、書き留め、そして未来へ～」のテーマのもと、大会長講演、特別講演、

研究発表、分科会などが行われ、盛会に終了致しました。

◎第22回 関東支部地方大会（山梨）のご案内

開催日時：2025年3月2日（日）

会場：山梨県立図書館（山梨県甲府市）

大会長：山本久美子（山梨音楽療法研究会会長）

基調講演：村瀬俊朗先生（早稲田大学商学部 組織心理学 准教授）

大会テーマ：「見つけよう他職種との連携で成功する鍵を～音楽療法士がリーダーシップを発揮するためには～」
対面とオンデマンドのハイブリッド型で計画しております。

大会内容：大会長講演／基調講演／研究発表／分科会領域別／ワークショップなど

◎関東支部主催研修会のご案内

2024年度は2回の研修講習会を開催予定。

1回目はZoomでの開催、2回目は対面での開催を予定しております。

§ 信越・北陸支部

【事務局】

〒386-0025 長野県上田市天神2-4-53 ジオグラントドエル602号

E-mail：mt.office2020@gmail.com

支部ホームページ：https://mtoffice2020.wixsite.com/jmtash

【支部役員】

任期：2022年4月～2026年3月

支部長：近藤清彦 副支部長：宮本啓子 事務局長：高橋和奈枝

第21回信越・北陸支部学術大会・講習会（福井）のご案内

日時：2024年6月15日（土）～6月16日（日）

会場：ハピリンホール3階（福井県福井市中央1丁目2-1）
JR福井駅西口より徒歩1分

大会テーマ：「音楽療法を見つめ直す～人が音や音楽に触れ合う時～」

大会長：野瀬千晶氏

内容：シンポジウム「音楽療法を見つめ直す～人が音や音楽に触れ合う時～」

市民公開講座Ⅰ 佐藤俊一氏（NPO法人スピリチュアルケア研究会ちば理事長）

市民公開講座Ⅱ 橋本弘子氏（森ノ宮医療大学教授、作業療法士）

「パーキンソン病の理解とパーキンソンダンス」

※2024年3月16日に北陸新幹線金沢～福井敦賀間が開業します。皆様に直接お会いして交流を深める絶好の機会と捉えて、福井駅前の会場にて現地開催のみで行います（懇親会も予定しています）。詳細は、信越・北陸支部ホームページをご覧ください。

§ 東海支部

【事務局】

〒503-8554 岐阜県大垣市西之川町1-109 大垣女子短期大学 菅田文子研究室

E-mail：jmta.tokai@gmail.com

支部ホームページ：https://jmta-tokai.net/

【支部役員】

任期：2024年4月～2026年3月

支部長：渡辺恭子 副支部長：伊藤孝子 事務局長：菅田文子

東海支部では2023年に役員選挙が行われ、2024年4月から新しい役員体制での運営がスタートいたしました。支部の三役としては、渡辺恭子支部長・菅田文子事務局長は留任、新しく伊藤孝子副支部長が加わりました。今期の他の新役員も、前期と同様力量のある方ばかりですので、東海支部の更なる発展と改革ができると確信しております。

2023年度、東海支部では新たな、そしてとても前向きな改革が行われました。まず、インターネット投票の導入です。圧着ハガキにてログインIDやパスワードを送り、支部のホームページのタブから入って投票していただくシステムを構築しました。選挙管理委員の先生方のきめ細かい対応もありほとんど同じ投票率で実施できました。また、インターネット投票に合わせて、東海支部のホームページも大幅にリニューアルしました。さらに、会員の皆様にQRコードから連絡用メールアドレスを登録していただく取り組みも支部独自として行なっています。

また、2024年1月27日に東海支部講習会を、金城学院大学にて対面で開催しました。実に3年ぶりの対面開催で、114名の参加者がありました。9月に全国大会が岐阜で開催されたため、今回は支部大会ではなく講習会という開催形態とし、2つ

の講演を用意しました。講演1は「発達障害の理解と支援」（川瀬正裕先生：金城学院大学人間科学部教授、愛知県公認心理師協会会長）、講演2は「認知症の最新情報」（遠藤英俊先生：聖路加国際大学臨床教授・名城大学特任教授、現いのくちファミリークリニック院長）でした。

新しい役員のもと、会員の皆様にとってお役に立てる支部運営を目指していきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

§ 近畿支部

【事務局】

〒561-8555 大阪府豊中市庄内幸町1-1-8 大阪音楽大学内

〈2024年7月1日より下記に移転〉

〒617-0823 京都府長岡京市長岡1丁目13-9 NPO 法人こらぼねっと京都市内

E-mail：jmtak@guitar.ocn.ne.jp

支部ホームページ：http://www.jmtak.com/

【支部役員】

任 期：2023年4月～2027年3月

支部長：伊藤美恵 副支部長：那須貴之 事務局長：佃 誉子 事務局次長：岩井澤奈巳

1) 第23回近畿学術大会のご案内

開催日：2025年3月1日（土）・2日（日）

会 場：大阪成蹊大学 駅前キャンパス（大阪府大阪市）

詳細が決まり次第、近畿支部ホームページ（http://www.jmtak.com/）に掲載いたします。

2) 近畿音楽療法学会誌のご案内

2024年3月に『近畿音楽療法学会誌 Vol.22』を発行しました。

2021年度より毎年発行しています『近畿音楽療法学会誌』は、原著論文や事例研究、近畿学術大会講習会の概要、ラウンドテーブルの報告記事、近畿支部活動記録を掲載しています。購読をご希望の方は近畿支部事務局（jmtak@guitar.ocn.ne.jp）、またはアカデミア・ミュージック株式会社（03-3813-6751）までお問合せください。

§ 中国支部

【事務局】

〒730-0031 広島県広島市中区紙屋町1-4-5-302

E-mail：jimukyoku.jmtacc@gmail.com

支部ホームページ：https://jmta-cc.org/

【支部役員】

任 期：2022年6月～2026年5月

支部長：武田千代美 副支部長：岩永 誠 事務局長：石井明子

中国支部は、3月24日（日）に広島市 RCC 文化センターにおいて、LSC 第11回講習会を開催しました。

今回は、中国支部副支部長の岩永誠先生を講師に、抄録の書き方をワークショップの形式で学びました。「抄録の書き方ワークショップ ～自身の事例を抄録の形にしてみませんか～」と題し、「なぜ事例報告を書くのか」をもう一度考えることから始まり、実際に自身で書いてみるワークショップまで、大変内容の濃い充実した研修となりました。

第22回支部大会ならびに第28回講習会は広島大学霞キャンパス広仁会館において、5月25日・26日に開催されます。大会テーマは「音楽療法における関わりを再考する～あなたとわたしの観点から～」とし、わたしと関わりのある周囲との関係性について考え直す機会にしたいと考えています。詳しくは中国支部 HP をご覧ください。

§ 四国支部

【事務局】

〒782-0038 高知県香美市土佐山田町秦山町2-1-1 尾立方

E-mail : sikoku.mt@gmail.com

支部ホームページ : <http://www.jmta-shikoku.sakura.ne.jp/>

【支部役員】

任 期 : 2022年7月～2026年6月

支部長 : 岩永十紀子 副支部長 : 川東伸江 事務局長 : 尾立真紀

去る2023年11月12日に、徳島での支部大会を「音楽療法研究と実践の、今！」というテーマで開催しました。名郷泉先生からオーストラリアのホットな情報を、藤井進也先生からは音楽神経科学の分野から、音楽と脳に関する最新の研究をもとにお話しいただきました。実践と研究の両面からのアプローチで、充実した大会となりました。

今年度の支部大会は、「夕日絶景ランキング」で全国1位に選ばれた父母ヶ浜（ちちぶがはま）近くの香川県観音寺市での開催です。ハイブリッド開催ですので、他支部の方のご参加をお待ちしております。佐藤正之先生のご講演「認知症に対する音楽療法の有効性」（仮題）については、市民講座として対面・オンラインの両方で一般の方にもご参加いただき、多くの方々に音楽療法に対する理解を深めていただけるよう、計画を進めております。こちらも四国外からのご参加大歓迎です。

また、音楽療法士としての専門性を高めて臨床に活かしていただけるよう、LSC（Learning Support Center）の取り組みも継続しています。

1) 第19回四国支部学術大会のご案内

日 時 : 2024年10月27日（日）

会 場 : ハイスタッフホール（観音寺市民会館）

ハイブリッド開催（対面とオンラインライブ配信）

大会テーマ : 「音楽療法が拓く希望と可能性～ウェルビーイングの新たな扉～」

大 会 長 : 岩永十紀子

講 師 : 佐藤正之氏

山本久美子氏

2) 第4回四国支部LSC講習会を開催いたしました

開 催 日 時 : 2024年3月31日（日）（オンライン開催）

内 容 : ①講習会「根拠ある音楽療法を実践するために ②」

起きていることを「ありのまま」見、そして「現実的」に考える

講師 那須貴之氏

②ピアスーパービジョン

§ 九州・沖縄支部

【事務局】

〒862-0970 熊本県熊本市中央区渡鹿5丁目1番37号 介護老人保健施設フォレスト熊本 内 担当 : 池田憲治

TEL : 096-363-0101 FAX : 096-363-3363

E-mail : jmta9oki@gmail.com

支部ホームページ : <https://jmtakyuokimt.wixsite.com/music>

【支部役員】

任 期 : 2022年4月～2025年3月

支部長 : 小林真寿子 事務局長 : 池田憲治

《日本音楽療法学会九州・沖縄支部 2024年度大会》

日 時 : 2024年6月23日（日）10:00～16:00

開 催 方 法 : 現地開催 熊本城ホール

アーカイブによる後日配信

プログラム : ①演題発表・活動報告

②講演「(仮) 音楽心理療法について」

講師 猪狩裕史 先生

日本音楽療法学会九州・沖縄支部では、2023年度は支部大会と2回の支部講習会を開催致しました。現地開催と後日オンデマンド配信の組み合わせで開催し、通常参加が困難な方々への配慮を致しました。そのおかげで、多い時は80名以上の参加がありましたが、残念ながら参加する方々は固定化される傾向にあります。会員のニーズを把握しながら、講習会の内容や開催方法を更に検討をしていきます。これからも、音楽療法士としての個々の資質向上を目指すだけでなく、専門性を磨くために学び続けたいと思えるような会にしていきたいと思っています。

学会事務局からのお知らせ

■ 第25回日本音楽療法学会学術大会開催のお知らせ

- 日程：2025年9月5日（金）、6日（土）、7日（日）
- 会場：つくば国際会議場
- 大会長：吉村奈保子 実行委員長：高畑敦子
- 大会テーマ：「LISTEN」

※大会案内は順次お知らせします。

■ 入会案内パンフレット取寄せについて

会員の方は、学会の入会案内パンフレットを20部まで無料でご請求いただけます。学会ホームページ上のお問い合わせ欄、もしくはFAX・郵送にて必要部数を明記の上ご請求ください。送料や返信用封筒の送付は不要です。なお、学会ホームページ上、「各種刊行物」ページ内にデータが掲載されておりますので、ご自身でダウンロードし、印刷することも可能です。

■ 学会ホームページからの規則書閲覧について

学会ホームページにて各規則書の抜粋版を閲覧いただくことができます。メニューより「ダウンロード」を選択いただき、規則書ファイル（PDF）をダウンロードしてご覧ください。

■ 学会ホームページ「お問い合わせ」について

学会ホームページよりお問い合わせを受け付けております。学会ホームページや学会ニュースなどの広報媒体や認定規則書等の発行物で確認ができない事項についてご質問がある場合は、学会ホームページメニュー「お問い合わせ」より必要事項を入力して送信してください。回答はご記入いただきましたメールアドレスにメールで送信されます。尚、ご回答までにはお時間を要する場合がございますので、あらかじめご容赦ください。

■ 認定音楽療法士対象 ピティナとの情報共有サービスについて

一般の方々への「音楽療法士資格を保有するピアノ指導者」の情報提供を目的として、一般社団法人全日本ピアノ指導者協会（以下、ピティナ）との間で、学会認定音楽療法士有資格者の情報共有サービスを開始しました。条件を満たす方はピティナ Web サイト上のピアノ教室紹介ページに「音楽療法士マーク」を無料で表示することができます。ご希望の方は下記に沿ってお申し込みください。

対象者：日本音楽療法学会認定音楽療法士 かつ ピティナ会員である方。

申込方法：会員名、学会とピティナ両方の会員番号を明記の上、「ピティナ ロゴマーク表示希望」として学会事務局宛にメールをお送りください。

メールアドレス jmta.ptna@jmta.jp

注意事項：申し込み先はピティナ事務局ではございません。

申し込み後、ロゴマークの表示までに日数を要しますのでご了承ください。

認定音楽士資格が失効した場合、ロゴマークの表示は中止されます。



■ 学会ご登録内容の変更について

- 住所・連絡先・メールアドレス変更

市町村の合併などを含め住所および連絡先、登録のメールアドレスに変更がある方は、会員ポータルサイト内にてご自身の登録情報の変更を行ってください。

- 名義変更

名義の変更をされる方は、学会ホームページ上「各種手続き」の「各種変更」より専用フォームにてお手続きください。会員ポータルサイトからは変更のお手続きはできませんのでご注意ください。

- 会員区分変更

現在学生会員の方で教育機関を卒業された方は、正会員への会員区分の変更が必要です。学会ホームページ上「各種手続き」の「各種変更」より専用フォームにてお手続きください。正会員から学生会員へ変更を希望される場合は、有効期限記載の確認できる学生証のデータ添付が必要となります。

※学生会員は認定申請ができないとともに、研究発表、論文発表もできない場合があります。ご注意ください。

※認定をお持ちの方、必修講習会を受講中の方は正会員であることが必須のため、学生会員への変更はできません。

■ 2023年度認定音楽療法士（補）試験問題解説集の発行について

2024年1月14日（日）に実施された23年度音楽療法士（補）資格審査（筆記試験）の試験問題解説集が2024年6月下旬に発行されます。該当試験受験者の方には事務局からお送りしますが、それ以外で購入を希望される方は「各種資料取り寄せ方法」をご覧くださいの上お取り寄せください。

■ 各種資料取り寄せ方法

各種資料の取り寄せを希望される方は、郵便局にて料金分の定額為替をご購入いただき、会員番号、氏名、希望資料の内容を明記した封筒（例、規則書必修講習会コース 請求）に同封の上、学会事務局までお送りください。その際、送付する為替には「なまえ」など何も記入しないでください。返信用封筒は不要です。

資料		金額（送料込）
認定規則書	必修講習会	500円
	面接試験	500円
	資格更新	500円
認定音楽療法士（補） 問題解説集	2011～22年度単年度版 ※希望年度を明記してください ※2001～2010単年度版は廃版となりました。	各1,000円
	2006～10年度、2011～15年度、2016～2020年度 五ヶ年分合冊版 ※希望年度を明記してください ※2001～2005年度五ヶ年分合冊版は廃版となりました。	各2,000円
その他	抄録の書き方（B5版76ページ2006.8発行）	1,000円
	スーパービジョンの手引き（A4版60ページ2015.8発行）	1,000円
	倫理ハンドブック	500円
	特別プロジェクト研究報告	500円
	音楽療法臨床ハンドブック（A4版114ページ2019.4発行）	2,000円
DVD	音楽の力2012 ～音楽療法が拓く可能性～（15分）	1,000円
学会誌、学術大会要旨集、 学術大会講習会資料集 （2018年度～）	日本音楽療法学会、日本バイオミュージック学会および臨床音楽療法協会の学会誌バックナンバー、学術大会要旨集（第15回世界音楽療法大会含む）、2018年度以降の学術大会講習会資料集のバックナンバーは学会事務局では取り扱っておりませんので下記までお問い合わせください。 アカデミア・ミュージック株式会社 〒113-0033 東京都文京区本郷1-28-21 TEL：03-3813-6751 FAX：03-3818-4634	

■ 各種証明書再発行手数料のお知らせ

学会の発行する各種証明書の再発行にはつぎの手数料がかかりますのでご了承ください。手数料分の定額為替（郵便局にて購入）を同封の上、希望の再発行内容を記載し学会事務局へお申し込みください。

●音楽療法士（補）資格証明書、各種講習会受講証明書、学術大会参加証明書（第6回大会から）など
手数料：500円

●音楽療法士登録証明書、賞状
手数料：2,000円

※記載の住所や名義の変更も含まれます。

※3×4 cmの顔写真、現在お持ちの登録証明書と賞状を同封し、学会事務局までお送りください。

※登録証明書・賞状ともに再発行する場合も、一方のみを再発行する場合も手数料は一律2,000円です。

※名義変更の場合は、氏名のローマ字表記を必ず明記してください。

※1ヶ月程度お時間がかかりますのでご了承ください。

■ 音楽療法士求人情報提供のお願い

音楽療法士の求人情報を学会ホームページに掲載しています。有償で直接雇用のものに限定しますが、掲載を希望される際は、現在掲載されているページを参考に Word にて求人情報掲載内容を作成し、kanri@jmta.jp へお送りください。内容確認後、掲載可否についてお知らせいたします。掲載期間は3ヶ月です。なお、求人情報ページは情報を提供するだけのもので、就職の斡旋をするものではありません。